

令和 3 年度事業報告書

令和 3 年 4 月 1 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 地域で創る土曜日「夢の学習」

1 事業実施の方針

各地域における教育・福祉事業の推進を図ることを目的として、令和 3 年度も、5 町 21 小学校区の地域を対象に社会教育事業を実施してきました。具体的には、令和 2 年度事業を継続し、土曜日を中心に体験活動を中心にした教育活動を展開してきました。社会教育の無償化を目標に、夢の学習では参加費・材料費は徴収せず実施できました。また、学びの意欲を尊重し、可能なかぎり希望者が参加できるよう配慮してきましたが、コロナ禍では安全の為定員を決めての実施となり、希望していても参加できない学習がありました。

令和 3 年度は、甲賀市の委託事業として下記の 3 点について主に取り組んできました。
家庭教育支援事業、子育て支援事業、市民講座、「ゆめの HEYA」の各事業です。

その結果、当初の予定を大きく上回る成果を上げることが出来ました。学習教室の開催数を取り上げて見ても、1,891 回の教室開催ができました。

(1) 親子体験学習

親子体験学習は、家庭教育支援事業としての実践です。この体験学習は、親子を中心とした学習で 7 つの活動に区分して取り組んできました。教室数は、書道等では各町で実施しているため同じ教室があります。また、その実施回数は年間 1 回から年間 40 回を超える学習もあります。

- ①生活体験活動、59 教室
 - ②自然体験活動、22 教室
 - ③伝統文化体験活動、58 教室
 - ④料理教室、郷土料理教室、20 教室
 - ⑤スポーツ体験活動、42 教室
 - ⑥社会貢献活動、29 教室
 - ⑦学習支援・教育相談、50 教室
- 合計 280 教室の開催ができました。

(2) 子育て支援事業

乳幼児が参加できる教室の開催についても実施してきました。また、「ゆめの HEYA」の実施により、子育て広場の開催にこぎつけることが出来ました。

(3) 市民講座

今までにも行ってきた年齢を超えた交流の学習教室を創造してきましたが、令和2年度より始めた市民講座を令和3年度より、別途立ち上げることができました。

その内容は、甲賀市の出前講座、成人を対象とした講座、さらに、より専門的なりカレント教育へ誘う学びを市民講座としました。教室開催数では、甲賀市の出前講座が64回、夢の学習での成人講座が411回を数えることが出来ました。

(4) 「ゆめの HEYA」 構想推進事業

令和3年度より「ゆめの HEYA」構想の推進を進めてきました。

「ゆめの HEYA」とは、地域住民が抱える地域課題を解決するための場を、住民が自由に立ち上げ、課題解決に向かう活動です。夢の学習はその支援をしてきました。

「ゆめの HEYA」構想は、次のような目的を持って進めてきました。

①今まで以上の地域住民による主体的な活動を起こそうとするものです。

令和2年までの5年間の実績で、500名以上のボランティアの協力によって進めてきた活動は、実践を通しての課題発見に基づいて事業を起こしてきました。

しかし、そこでのボランティアの活動もあてがわれたものとしての活動となり、参加割合も64.9%から57.5%と低いものとなりました。もちろんコロナ禍での影響もありました。

②昨年度の課題には、なかなか当事者の思いをくみ取ることができない課題もありました。

そこで、思いを共有していく仲間がいれば課題に対応できるのではないかとの反省から、それぞれの課題意識を持った市民による活動を推進することで、より充実した活動ができるものと考えました。

③「ゆめの HEYA」の発展とともに課題が明確になり、「ゆめの HEYA」のつながりで豊かな活動に発展していくのではないかと思われたからでした。

その結果、20を超える「ゆめの HEYA」が実際に活動し、計画を立てることができました。

令和3年度は、以上の4つの事業を本会の柱として展開してきました。

学習開催回数、参加者数から昨年度と比較するとそれぞれ1.5倍、1.8倍となりました。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
1. 地域づくりのための社会教育事業、この事業は、2. 以下の全ての事業を含む	体験活動を中心とした約100種の講座を年間1200回実施の予定に対し、1,800回を超えることができた。	原則毎週土、日曜日 9:00~12:00 平日 9:00~12:00 平日の開催が増えてきた	5町中央公民館、各区・自治会の集会所、各町スポーツ施設、学校、他。 現在77か所活用 活動場所が約100カ所になってきている。	ボランティア登録者数令和2年度末500名。 本年度600名以上を目標に実施する。年間延5,000名。 登録者数は680名を超えた。ボランティア参加延べ数は、延べ約6,300名であった。	乳幼児から高齢者までの12,000人から15,000人を目標にする。(昨年度はコロナ禍であったものの約12000人の参加があった。)本年度の参加者数は、21,880名であった。	甲賀市委託事業 (27,500) 定款事業2以下の事業費を含む。 助成金事業は、その事業内で使用。 ・文化庁伝統文化親子教室事業 (2,000) ・共生社会推進事業 (285) 文化庁並びに地域共生社会推進事業報告は、完了した。
	市民講座ア、甲賀市出前講座イ、成人講座ウ、リカレント教育につなぐ専門的な講座	日・月曜日を 除く日	主に公民館 で実施。	年間市民講座64回 成人講座 44教室411回 の実施 ボランティア延べ約 1,000名	市民講座への参加は、延べ約5,000名	
	「ゆめのHEYA」推進事業 年間約20の部屋 「不登校」 他 20の実践と約20の計画が進められている。	各部屋の運営者により実施するため、年間適時実施。	各部屋の運営者により適時場所を決定。	従業者数は、各部屋約3名として、約60名	各部屋 数名~30名 約延べ 約2,000名	助成金申請予定 (2,000)であったが、甲賀市委託費から活用
2. 地域連携に関する事業	スポーツ団体との連携事業	原則毎週土・日曜日9:00~12:00 また、施設借用状況に応じて午後実施。	学校体育館・市民体育館・公民館、ホール等	野球・バレーボール・サッカー・ソフトボール・テニス・剣道・空手・合気道・バスケットボールの指導者と補助員(ボランティア)	参加者 全体で185回の実施 約3,000名	市委託費より

	相談活動。	原則毎週土曜日実施 日曜日	水口中央公民館相談室	元校長、臨床発達心理士、生涯学習コーディネーター、夢学スタッフ他随時	18件「ゆめのHEYA」	
	伝統文化親子教室・土曜学習事業に関わるもの	原則毎週土・日曜日9:00~12:00 また、施設借用状況に応じて午後実施。	各町関係施設	百人一首・囲碁・将棋・けん玉・茶道・伝統郷土料理・書道・そろばん、日本舞踊等、約50名	対象者親子並びに子ども。市内保幼小中を対象参加見込みは、約参加者の3割	伝統文化親子事業 水口支部 (1,000) 甲南支部 (1,000) (合計2,000)
	地域伝統産業や地域の歴史文化に関わる事業かんぴょう栽培	年間を通して適時実施 信楽月1回	水口農園 信楽農園	ボランティア5名	各10名~20名	甲賀市委託費より
	地域事業との連携事業	原則毎週土・日曜日9:00~12:00 であるが、地域事業に合わせて実施。	飯道山清掃活動のろし駅伝正月早朝登山等の実施場所	関係運営組織との連携協働事業 本会からは、約20名。	それぞれの事業によって数名~数十名	甲賀市委託費
	郷土料理業の作成事業	年間月1回の会議 料理研究各地域で実施	水口中央公民館 各公民館	約13名~15名 各地域3名から5名	事業支援ボランティア約100名 各地域ボランティア各約5名	甲賀市委託費
	「ゆめのHEYA」地域課題に関する部屋	適時実施	公民館、集会所等	各部屋の責任者約3名	各「ゆめのHEYA」5~10名で構成	甲賀市委託費
3. 福祉に関する事業	生活支援事業「ゆめのHEYA」とのつながりを作る	10月講座の開設	水口中央公民館	関係機関との連携により講師依頼	各校区単位での取り組みになるよう数年の計画をたてて推進していく。	共生型社会推進事業助成金・市委託費、その他助成金による (285)
	サロン活動との連携事業年間30回実施	土曜日・平日9:00~12:00	サロン活動・地域事業実施場所	夢の学習出前講座15名~20名で実施。	約500名	
	高齢者施設訪問事業(中止)	マリーゴールド栽培(失敗) 葉牡丹栽培に合わせて実施(中止)	各関係施設訪問	それぞれの参加者	施設関係者も含めた総数。	市委託費による設備準備については助成金を申請。

	子育て支援事業。 乳幼児と保護者の居場所づくり	講座開設時間常。 学習への参加含む 夏季休業中の実施	各事業実施場所に積み木・本等を置き居場所を作って対応 各中央公民館	各講座に特別スタッフを配置	年間就学前参加者及び参観者 3000名~4,000名を見込んでいる。 3,596名参加	
	料理教室(子ども食堂)事業 5町で実施、年間約40回予定	5町で実施。土曜日の午前中に実施。参加状況により午後や日曜日に実施。	綾野小学校 家庭科室 甲南青少年活動センター 一全9カ所から10カ所を予定。	年間延べボランティア 約250名参加 協力予定	1,000名を目標に実施する	平和堂・JA・滋賀県社会福祉協議会・甲賀市社会福祉協議会などの支援により実施できた。
	令和3年度もコロナの影響により、持ち帰り方式により数カ所の実践にとどまった。					
	「ゆめのHEYA」 ・不登校 ・引きこもり ・簡単介護 ・生活支援 他	適時開催	各地域公共機関、その他施設	年間10部屋の創設 20HEYAの実践ができた。 7	各部屋数名で構成	助成金申請予定していたが、甲賀市委託事業からの活用
	簡単朝食レシピ集の発行	休業前に配布	事務局健康推進員連携作成	約10名	配布対象 小学校1年生 約800名 健康推進員 約500名	甲賀市委託費 寄付 甲賀市健康推進員連絡協議会 (25)
	簡単朝食料理教室	適時	地域料理教室担当	約40名	コロナ収束後実施	関係機関、団体、企業の助成他
4. 上記実践にかかる研究事業 広報活動	夢の学習研究推進活動	年間通した研究活動	県内外で実施。	スタッフ一同で推進していくこと。 ・研究骨子の作成 ・データの収集と分析 ・発表者のプレゼン作成	次年度の資源としてコミュニティチャートに残していく	甲賀市委託費
	コミュニティーチャートを基本にした事業推進と研究活動	課題解決のための推進活動 年間	市内での実践を通した活動 本年度市内での実践からまとめる			
	滋賀県福祉学会研究発表会での発表	2~3レポートの発表予定 2件の発表ができた。	滋賀県長寿福祉センター	事務局28名 ボランティア約500名	研究会参加者 コロナ禍の為参加者4名	共生型社会推進事業助成金、他研究費より

活動計算書

[税込] (単位:円)

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習

自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日

【経常収益】

【受取会費】

正会員受取会費 51,000

【受取寄付金】

受取寄付金 669,400

【受取助成金等】

受取助成金 2,285,000

【事業収益】

受託事業収益 30,250,000

【その他収益】

受取 利息 66

雑 収 益 82,633 82,699

経常収益 計

33,338,099

【経常費用】

【事業費】

(人件費)

ボランティア評価費用 2,492,730

人件費計 2,492,730

(その他経費)

諸 謝 金(事業) 313,050

印刷製本費(事業) 1,217,678

教 材 費(事業) 232,927

消耗品 費(事業) 1,265,014

賃 借 料(事業) 1,650

研 修 費(事業) 5,000

その他経費計 3,035,319

事業費 計

5,528,049

【管理費】

(人件費)

給料 手当 16,970,150

法定福利費 1,081,989

人件費計 18,052,139

(その他経費)

印刷製本費 22,830

会 議 費 50,888

旅費交通費 678,800

通信運搬費 770,163

教 材 費 1,540

消耗品 費 1,747,087

接待交際費 1,100

新聞図書費 24,859

減価償却費 231,602

保 険 料 530,965

諸 会 費 4,375

リース 料 19,308

租税 公課 1,375,300

活動計算書

[税込] (単位: 円)

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習

自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日

支払手数料	523,105	
雑 費	133,470	
その他経費計	<u>6,115,392</u>	
管理費 計		<u>24,167,531</u>
経常費用 計		<u>29,695,580</u>
当期経常増減額		3,642,519
【経常外収益】		
経常外収益 計		0
【経常外費用】		
経常外費用 計		<u>0</u>
税引前当期正味財産増減額		3,642,519
法人税、住民税及び事業税		<u>374,510</u>
当期正味財産増減額		3,268,009
前期繰越正味財産額		<u>1,124,262</u>
次期繰越正味財産額		<u><u>4,392,271</u></u>

貸借対照表

NPO法人 地域で創る土曜日夢の学習
全事業所

[税込] (単位:円)
令和 4年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	432,309
他店商品券	207,080
普通預金	<u>7,079,338</u>
現金・預金計	<u>7,718,727</u>

流動資産合計

7,718,727

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品	<u>214,332</u>
有形固定資産計	<u>214,332</u>

固定資産合計

214,332

資産合計

7,933,059

《負債の部》

【流動負債】

買掛金	14,548
未払金	2,316,433
預り金	13,507
未払法人税等	374,500
未払消費税等	<u>821,800</u>

流動負債合計

3,540,788

負債合計

3,540,788

《正味財産の部》

前期繰越正味財産

1,124,262

当期正味財産増減額

3,268,009

正味財産合計

4,392,271

負債及び正味財産合計

7,933,059

財 産 目 録

特定非営利活動法人 地域で創る土曜日夢の学習

[税込] (単位:円)
令和 4年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現 金		432,309
他店商品券	商品券	207,080
普通 預金	滋賀銀行/綾野支店ほか	7,079,338
現金・預金 計		<u>7,718,727</u>

流動資産合計

7,718,727

【固定資産】

(有形固定資産)

什器 備品	パソコンほか	214,332
有形固定資産 計		<u>214,332</u>

固定資産合計

214,332

資産合計

7,933,059

《負債の部》

【流動負債】

買 掛 金	JCB利用ほか	14,548
未 払 金	3月分給料ほか	2,316,433
預 り 金	源泉所得税	13,507
未払法人税等		374,500
未払消費税等		821,800

流動負債合計

3,540,788

負債合計

3,540,788

正味財産

4,392,271

財務諸表の注記

特定非営利活動法人 地域で創る土曜日夢の学習

自 令和 3年 4月 1日 至 令和 4年 3月31日

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日（2017年12月12日最終改正）NPO法人会計基準協議会）によっております。

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づき、定率法を採用しております。

(2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式を採用しております。

2. 固定資産の増減内訳

【税込】（単位：円）

科目	期首取得価額	期中取得	期中減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産 什器 備品	1,221,372	0	0	1,221,372	△ 1,007,040	214,332
	1,221,372	0	0	1,221,372	△ 1,007,040	214,332

以上